

◆ 今週のコメント

- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 30歳代)あります。平成25年4月1日に五類感染症に追加されて以降, 昨年の累積報告数は15例でしたが, 本年の累積報告数は第19週時点ですでに18例となっています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市の定点当たり報告数は0.66(45例)となり, 流行の指標である『1.0』を下回りました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 4例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 3例
【1月以降の累積報告数 134例(肺結核 65例, その他結核 29例, 潜在性結核感染者 40例)うち喀痰塗抹陽性 33例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 18例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

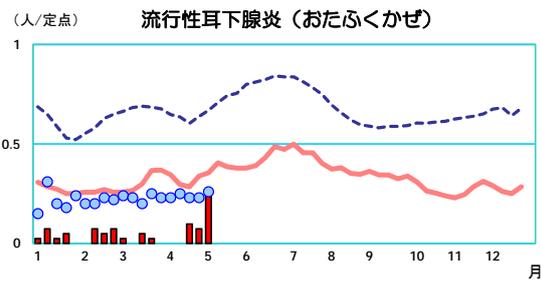
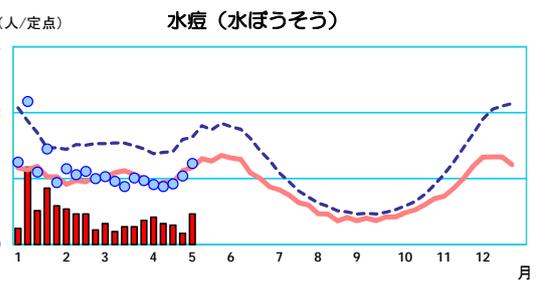
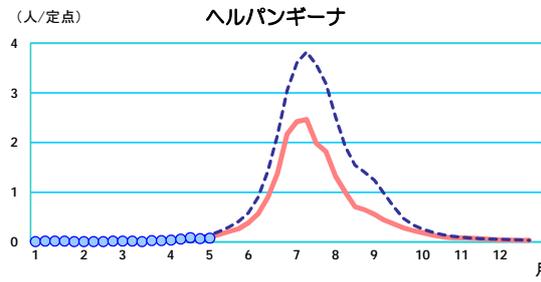
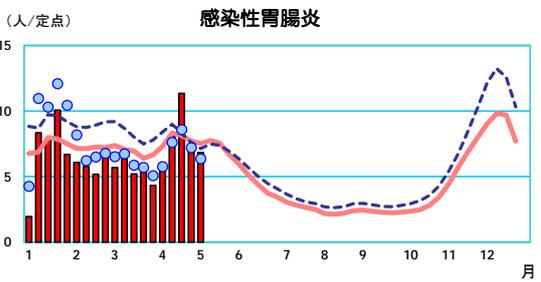
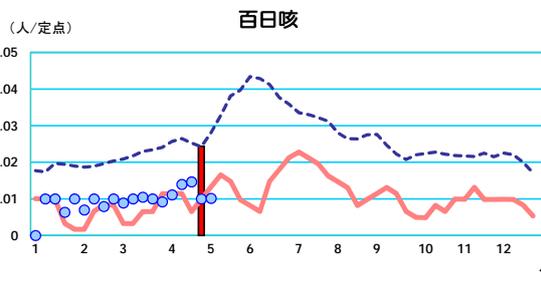
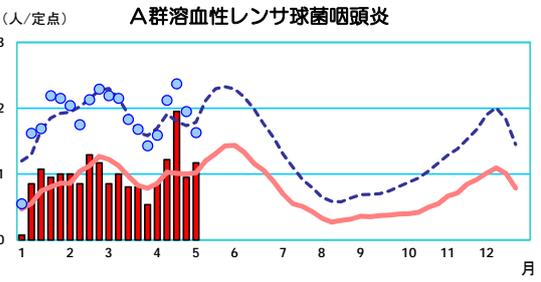
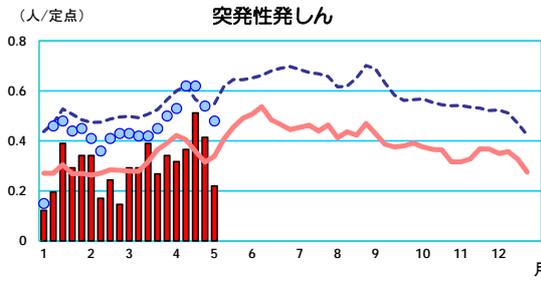
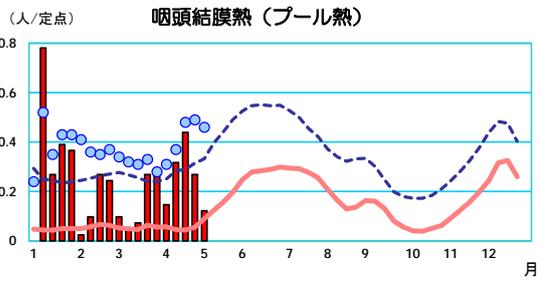
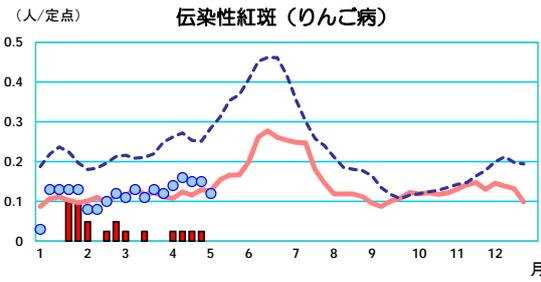
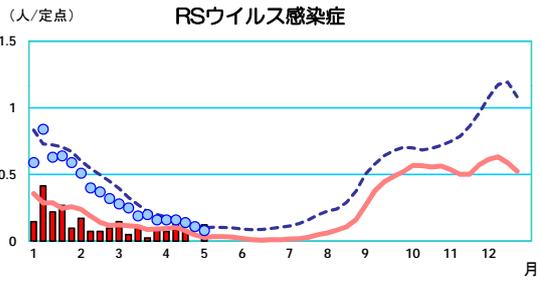
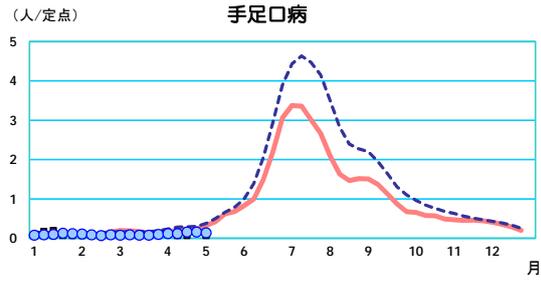
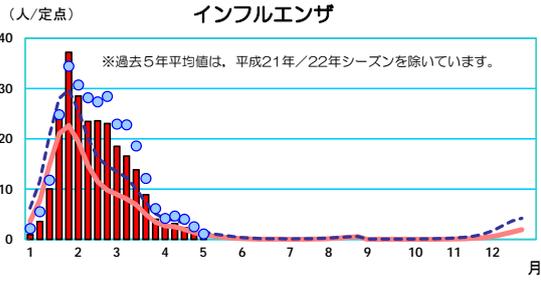
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.66	45
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.83	280
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.17	48
	③ 水痘	0.46	19
	④ 流行性耳下腺炎	0.27	11
	⑤ 突発性発しん	0.22	9
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは, 平成26年5月15日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

ヘルパンギーナ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



第19週(5月5日～5月11日)トピックス: <インフルエンザ>

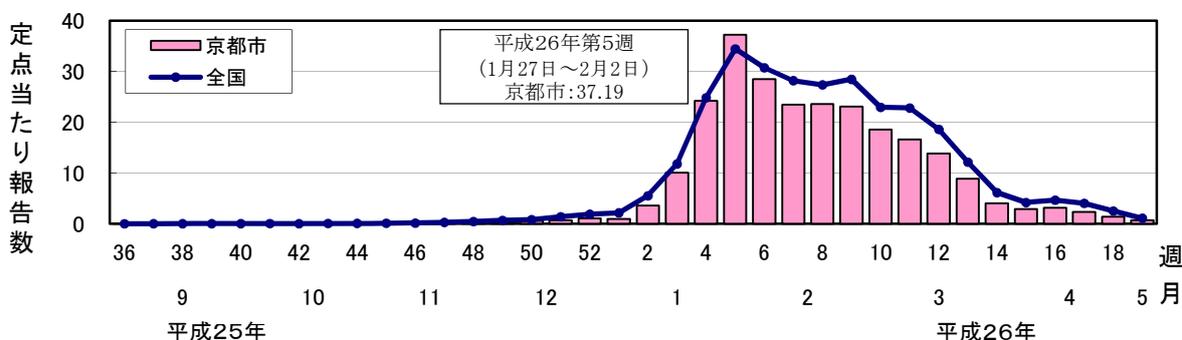
京都市の定点当たり報告数は0.66(45例)となり、流行の指標である『1.0』を下回りました。今シーズンは、平成25年第52週に流行開始の指標である『1.0』を超え、流行期間は平成26年第18週までの19週間となりました。流行のピークは第5週で、前シーズンと同時期でした。全国においても、京都市と同様の流行状況となっており、12月末から始まった流行は終息に向かいつつあります。

京都市衛生環境研究所では、今シーズン、AH1pdm09を28例、AH3型を3例、B型を30例、分離・検出しており、昨シーズン及び平成23年/24年シーズンに流行の主体であったAH3型の流行は小規模でした。また、全国のインフルエンザウイルス分離・検出報告数は、AH1pdm09 3,255例(44.0%)、AH3型 1,612例(21.8%)、B型 2,530例(34.2%)となっています(平成26年5月16日現在)。2シーズン続けてほとんど検出されていなかったAH1pdm09が最も多く分離・検出され、平成22年/23年シーズン以来の流行となりました。

抗インフルエンザ薬耐性ウイルスに関して、今シーズン、京都市では検出されませんでした。全国的にみると、シーズン開始以来、抗インフルエンザ薬耐性AH1pdm09ウイルスの検出報告が続いています。詳細については、下記をご参照ください。

○国立感染症研究所感染症疫学センターホームページ「インフルエンザウイルス分離・検出速報」
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>

京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



京都市の過去5シーズンの流行期間

シーズン	H20/H21	H21/H22	H22/H23	H23/H24	H24/H25	H25/H26
『1.0』を上回った週	第50週	第33週	第50週	第51週	第1週	第52週
ピーク時の定点当たり報告数 (ピークの週)	27.51 (第4週)	31.35 (第44週)	20.73 (第4週)	38.89 (第5週)	31.22 (第5週)	37.19 (第5週)
『1.0』を下回った週	第18週	第6週	第20週	第18週	第22週	第19週
流行期間	20週間	26週間	22週間	19週間	21週間	19週間

シーズン別インフルエンザウイルス分離・検出状況(京都市及び全国)

